

①「吉備の中山」と古代吉備

②葉師寺慎一 著 ③吉備人出版 ④21号館一般

⑤「吉備の中山」とは、吉備津神社がある山ですが、そればかりではなく、昔からの聖なる山として、さまざまな遺跡が点在しています。それだけに、謎の多い所でもあります。岡山に住むものとして、岡山の原点ともいえるこの山のナゾに、みなさんも挑戦してみませんか。 ⑥志野敏夫先生

①フラクタル社会の経済学

②中込正樹 著 ③創文社 ④21号館一般

⑤2008年秋に突発した、アメリカ発の世界経済危機に対し、「規制緩和」一本やりの経済学は無力さを露呈した。本書は、効用と利潤の最大化をめざす功利主義的人間像にもとづく新古典派理論の根底的な反省のもと、限定された情報処理能力しかもたないのに単なる「マシン」を超える生きた現実的人間を前提に、新しい経済理論の創造を目指す画期的業績である。 ⑥泉俊弘先生

①天ぷらにソースをかけますか? : ニッポン食文化の境界線 (新潮文庫)

②野瀬泰申 著 ③新潮社 ④10号館文庫

⑤日経新聞社がネットを通じて「食の方言」を調査した結果を紹介。「肉」が豚を指すか牛を指すか、冷やし中華とマヨネーズの関係などに加えて筆者が東海道を歩いて、食の境界線を調査した旅行記が新鮮。意外な食の違いを知ることで文化を見る目が変わる。 ⑥後藤義明先生

①ポローニャ紀行

②井上ひさし 著 ③文藝春秋 ④10号館一般

⑤イタリアのポローニャに関する小さなエッセイ集。行政改革、地方分権、中小企業再生、教育、介護等々を「ポローニャ式」と称される独特の住民参加方式で解決される様子が生き生きと述べられている。建物保存や街造り等こんな方法もありかと目から鱗。 ⑥西岡利晃先生

図書館では、こんな本がよく借りられています。

昨年、2008年1月～12月までの期間で、図書館で借りられたものから、貸出回数が多い資料をご紹介します。なお、貸出回数が多い100冊について、11号館2階OPAC端末横の掲示板に掲示していますので、そちらもご覧ください。

1位34回 「わかりやすい生化学：疾病と代謝・栄養の理解のために」 第4版

篠原力雄, 饒村護編 ヌーヴェルヒロカワ 11号館一般 491.4/Sh

2位33回 「ブラウン・プーン基本有機化学」 第3版 11号館一般 437/Br

3位31回 「21世紀の大学基礎化学実験：指針とノート」 改訂版 11号館一般 432/Da

4位30回 「生化学辞典」 第3版 11号館一般 464.033/Se

5位29回 「Essential細胞生物学」 原著第2版 11号館一般 463/Es

6位28回 「エミール」 上 (岩波文庫) 10号館文庫 135.48/Ro/1

6位28回 「大学の基礎化学実験：指針とノート」 11号館一般 432/Da

6位28回 「生化学辞典」 第4版 11号館一般 464.033/Se

6位28回 「標準生理学」 第6版 (Standard textbook) 11号館一般 491.3/Hy

6位28回 「生理機能検査学」 第2版 (臨床検査学講座) 11号館一般 492.1/Se